

2017年7月17日

## 日本感情心理学会 常任理事会・理事会 議事録

日時：2017年6月23日（金）15時～17時

会場：同志社大学今出川キャンパス 徳照館会議室

出席者（敬称略）：中村 真理事長（議長），湯川進太郎副理事長，有光興記，伊藤義徳，岩永 誠，大平英樹，澤田匡人，成田健一，阿部恒之，河野和明，佐藤健二，戸梶亜紀彦，一言英文，余語真夫，稲垣 勉，樋口匡貴（記録）

委員長への委任：北村英哉，鈴木敦命，薊 理津子，谷口高士，伊波和恵

議事に先立ち，出席者および委任状の確認がなされ，会の成立が宣言された。

また，鈴木直人大会委員長よりご挨拶をいただいた。

### 【審議事項】

#### 1. 2016年度決算案について（資料4）

##### (1) 決算案について

資料に基づき，理事長より2016年度決算案が説明された。

##### (2) 監査報告

谷口監事，伊波監事が欠席であるため，中村理事長により監査報告についての説明がなされた。

署名捺印された監査報告を確認し，決算案について審議を行った結果，原案通り承認された。

#### 2. 2017年度予算案について（資料4）

資料に基づき，理事長より2017年度予算案が説明され，交通費の使途や，学会の収入・貯蓄について質疑応答がなされ，審議の結果原案通り承認された。

#### 3. 会費未納者について

中村理事長より，3年以上未納者が23名，2年間未納者が20名いることが報告され，その後の自動退会（4年未納の場合）に関する対応方針について承認された。また未納者については今後積極的に支払いを働き掛けていくよう依頼があった。

#### 4. 組織改編の規程改正 について

資料 8 に基づき、学術プログラム委員会と編集委員会の関係を中心に、日本感情心理学会の新たな組織構成について理事長より説明がなされた。審議の結果、編集委員会規程案、学術プログラム委員会規程案、エモーション・スタディーズ発行に関する規程案について、以下の修正を前提にいずれも承認された。修正は下記のとおりである。

##### (1) 編集委員会規程案（資料 5）

修正意見は特になかった。

##### (2) 学術プログラム委員会規程案（資料 6）

「第 1 条（3）機関誌の企画に関する事項」について、その実行機能の所在について混乱が生じる可能性があるという指摘があり、本項は削除することとなった。

##### (3) ES 発行に関する申し合わせ案（資料 7）

第 4 条 3 行目を感情心理学研究編集委員会と修正することになった。また機関誌名における鍵カッコはいずれも削除することとなった。

#### 5. 新しい委員会の組織編成について（資料 8）

##### (1) 学術プログラム委員会関係

学術プログラム委員会の委員として、第 2 条に基づき理事より大平先生、佐藤徳先生、一言先生にお願いすることとなったことが報告された。このうち大平先生には学術プログラム委員会委員長を、佐藤先生にはセミナー担当を、一言先生には大会担当をお願いすることとなった。また、北村先生に出版担当をお願いすることとなった。

##### (2) エモーション・スタディーズ編集委員会関係

エモーション・スタディーズ編集委員会委員長を河野理事に、また副委員長を関谷会員にお願いすることとなったことが報告された。それに伴い、河野エモーション・スタディーズ編集委員長には常任理事になっていただくことが審議され、承認された。

#### 6. 名誉会員の承認について

山岡淳先生の名誉会員の推戴について中村理事長より提案があり、承認された。

## 7. エモーション・スタディーズ特別号申し合わせについて（資料 9）

資料 9 に基づき中村理事長より説明があった。査読における困難さ、本申し合わせの元での ES 特別号のニーズ、ES での特集と特別号との違い、二重投稿の問題、質保証の問題、審査基準や審査料を明確に記載する必要性、規程修正の必要性、ES 特別号の発行によるメリットなどについて質疑応答、意見交換がなされた。今後、審議内容を踏まえた修正を行いつつ、ES 特別号の発行について認める方向で進めることが承認された。

## 8. 来年度以降の年次大会の開催について

### (1) 2018 年度 東洋大学（戸梶準備委員長）

戸梶準備委員長より、11 月ごろに東洋大学白山キャンパスにて開催される予定であることが報告され、承認された。これに関連して各種役員・委員の任期の問題が議論された。この点については今後の検討課題である。

### (2) 2019 年度以降

関西学院大学において 2022 年度の日本生理心理学会との合同大会の可能性を検討していただいていることが中村理事長より報告された。合同大会としての実施については問題ないことが承認された。

またそのほかの開催候補校についても前向きに検討していただくことが依頼された。

## 9. その他

### (1) 休会制度について

中村理事長より、休会制度の整備について提案がなされ、承認された。

### (2) その他

- ・ 稲垣理事よりホームページデザインの変更案について提案があり、承認された。
- ・ クレジットカードでの会費納入について、日本心理学会のシステムを使用しているクレジットカード会費納入方式の導入が阿部理事より打診された。手数料の負担は学会が行う。日本心理学会の会員以外の使用は不可能。

## 【報告事項】

### 1. 会勢報告（資料 1）

資料に基づき中村理事長より会勢の報告があった。現時点での会員数は 421 名である。

### 2. 2016 年度大会決算について（資料 2）

資料に基づき中村理事長より 2016 年度大会決算の報告があった。

### 3. 学術プログラム委員会関係

#### (1) プレカンファレンスについて

今年度から大会の公式行事として位置づけられ、2 企画が実施される。

#### (2) セミナーについて

予算 10 万円で企画が進行中である。大平先生による企画（10, 11 月ごろ）、大平先生と佐藤徳先生による企画「感情科学の最前線」（1~3 月）の予定。

#### (3) 出版企画について（シリーズ本）

北村先生を中心に進行中である

#### (4) エモーション・スタディーズ 4 巻について

公募の結果、湯川先生による特集企画が承認され、現在進行中である。

#### (5) 大会発表賞について

今年度よりの新たな方式での審査が行われることについて報告され、投票について依頼がなされた。

#### (6) その他

特になし

### 4. 編集委員会関係（資料 3）

成田編集委員長より、下記事項について資料に基づいて説明がなされた。また、大会中のコーヒーセッションの開催について予告がなされた。

#### (1) 委員会活動について

#### (2) 優秀論文賞の選考

#### (3) 学術貢献賞について

- (4) 学会誌発行状況
- (5) 倫理問題について
- (6) 各種規程の改正について

## 5. 倫理委員会関係

伊藤倫理委員長より，規程の完成および公開が報告された。

## 6. その他

- (1) ハンドブックについて

内山理事，有光常任理事より進捗状況の報告があった。2017年11月末を原稿締切にし，2018年9月出版予定で進行する予定である

- (2) その他

特になし

以上